

お知らせ
(経済・大学同時)

平成27年8月6日
産 業 観 光 局
(観光 MICE 推進室 746-2255)

京都市と京都大学との国際学術都市としての魅力向上に関する 連携協定の締結について

この度、京都市では、京都大学と下記のとおり、協定を締結し、本市の世界文化自由都市宣言にもある、平和のもとでの世界の方々との自由な学術・文化交流をさらに促進させ、京都の活性化と発展に取り組んでまいりますので、お知らせします。

これは、世界有数の大学のまちとしての特性を活かし、悠久の歴史に育まれた文化と景観が息づく山紫水明の「国際学術都市」「世界があこがれる観光都市」の実現を目指し、国際学会・国際会議の誘致や、将来の観光を創造・牽引する担い手の育成などを官学連携で取り組み、京都の学術文化振興、地域社会の活性化、観光振興等に繋げていくものです。

また、本協定をきっかけの一つとして、京都大学山極総長が掲げる「京都アカデミア構想」の実現に向けて、両者が連携して取組を進めます。

1 連携・協力事項について…別添連携協定書（写）参照

(1) 国際学会・国際会議の誘致及び開催促進に関すること

日本の奥深い心を感じるまち京都において、数多くの世界に貢献する国際会議等の開催は、京都へのあこがれをますます高め、都市格の更なる向上、市民生活の活性化に繋がります。

そのため、京都市内における国際会議等の更なる増加を目指し、国際会議等の開催に大きな関わりを持つ京都大学と国際会議等の開催誘致の時点から情報を共有するとともに、京都市がよりきめ細かなサポートを行うため、京都大学内に国際会議等の開催を支援する相談窓口の設置に向けて検討します。

(2) 海外での留学生誘致の連携プロモーションに関すること

グローバル化が進展する中、京都で学んだ留学生等は、世界に向けた京都の魅力発信や産業・経済活動の場等で、京都との架け橋となって活躍することが期待されています。また、国際的な大学間競争が激化する中、大学と行政が連携して留学生誘致に取り組むことは極めて重要です。

このため、本市が海外で実施する観光プロモーション等にあわせて、京都大学への留学生誘致を行い、平成29年度までに市内の留学生数1万人を増やす目標の実現に向けて取組を加速します。

(3) 観光分野の人材育成に関すること

観光は、産業・文化・環境・交通・都市整備等のあらゆる分野を横断する総合文化産業であり、両者が連携して担い手育成の取組みを強化します。

これまでから京都大学と連携して実施している「京都観光経営講座」を、さらに拡充し、より観光経営に必要なノウハウ等を学んでいただきます。

また、京都大学が「京都の各地域の課題を解決する」ことを目指すCOCOLO域事業で実施する、市民と外国人観光客とを結ぶプロジェクト「GENIUS TABLE」に本市も連携して取り組み、新たに観光分野に従事する人の輩出を目指します。

(4) 卒業生の京都観光支援に関すること

国立京都国際会館で開催される国際会議において、京都大学の関係者が関与していないものは皆無といっても過言ではありません。京都大学の卒業生は、日本のみならず、世界中で活躍されています。

ともに京都で学んだ同期、恩師、多様な分野で活躍する世代を超えた同窓生とのつながりをさらに深めていただくよう、京都市内で開催される同窓会を支援します。具体的には、同窓会の参加者に配布される「伝統産業製品の記念品」等に係る経費を京都市が上限30万円まで支援するとともに、両者が連携して本制度の積極的な活用を働きかけます。

2 協定締結式について（参考）

(1) 日 時 平成27年8月6日（木）午後3時30分～午後4時

(2) 会 場 京都市役所 第一応接室

(3) 出席者 京都市 門川 大作 市長
京都大学 山極 壽一 総長

(4) 次 第 開会・出席者紹介
協定書署名・記念撮影
門川市長あいさつ
山極総長あいさつ
質疑応答